広報 かんなみ

みんなの絆（きずな）が地域を守る

探検！発見！
すごいぞぼくらの田方消防（たがたしょうぼう）

平成22年度田方広報研究会共同編集

平成23年
2月号
No536

今月の主な内容

探検！発見！すごいぞぼくらの田方消防
広報かんなみ施設設置を始めます
町職員の給与公表
上水道・下水道の検針票が変わります　など

探検！発見！

すごいぞぼくらの田方消防

平成22年度田方広報研究会共同編集

災害、救急などあらゆる緊急時に備え、私たちの安全・安心を見守っている田方消防本部。そんな田方消防本部を、田方に住む小学生3人が探検。田方広報研究会（※）は、小学生の目線から田方消防本部の仕事をリポートします。

函南町立函南小学校
山元裕喜くん

伊豆の国市立韮山小学校
小林桃香ちゃん

伊豆市立熊坂小学校
半田虎太郎くん

どんな仕事をしているの？

消防署は、大きく分けると3つの仕事をしているよ。

①火事を起こさないようにする仕事

広報活動　「寝タバコによる火事に気をつけましょう」「家庭に火災警報器をつけましょう」など、火事が起こらないように注意を呼びかけているよ。

立入検査　お店や会社が火事を起こさないように対策をしているか実際に見に行ってチェックしているよ。

防火指導　火事を起こさないように予防方法などを指導しているよ。

②災害に備える仕事

火事や事故などのときにすばやく正確に対応できるよう、訓練や消防車・救急車、機械などの点検をしているよ。

③起こってしまった災害や事故に対して対応する仕事

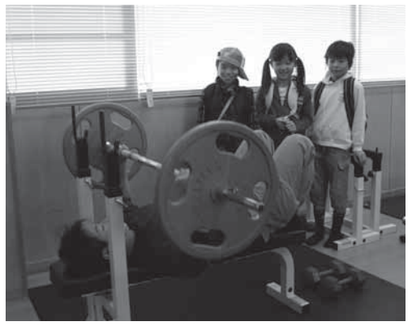
消火活動　火事をすばやく消し、被害の拡大を防いでいるよ。

救助活動　逃げ遅れた人を救出する活動だよ。

救急活動　けがをした人、病気が悪化してしまった人を病院に送り届ける活動だよ。また、救急車の中でも応急手当を行っているんだ。さらに重い症状の人は、病院と協力してドクターヘリを使うこともあるよ。

※田方広報研究会は、函南町、伊豆の国市、伊豆市、JA伊豆の国、伊豆保健医療センターの各広報担当で構成されている田方地域の広報研究会です。

火事がないときはどんなことをしているの？



▲消防士さんが訓練していたよ！（トレーニングルーム）

火災や救急、救助の訓練

火事（建物・車両・林野）や交通事故、水難事故、遭難事故などを想定し、計画を立てて訓練をしているよ。また、車や道具がいつでも使えるように点検を行っているんだ。

地理状況、水利状況、道路状況などの調査

地名や地域の把握、消火栓や貯水槽の場所や使い方の確認に出かけているよ。

消防設備の検査

お店や会社などに定期的に立入検査を行っているよ。また、新しいお店や会社ができたときも、同じようにチェックに行くんだ。

届け出の受付事務や講習会

「花火大会やキャンプファイヤーなど、火災が発生する恐れがあるとき」「水道の水を止めるとき」「消防車・救急車の通行に支障がありそうな道路工事をするとき」など、消防活動に関連があるさまざまな届け出を受け付けているんだ。また、地域の皆さんから防災や救急について教えてほしいと依頼があるときは、講習会を行っているよ。

▲ロープで建物の間を渡る訓練（田方消防訓練所）

119番に電話したら、どれくらいで来てくれるの？

119番の着信があってから約10分で現場に到着するよ。

※あくまで平均です

119番着信

どんな内容なのか、どこから電話しているのかなど詳しく聞くよ。

←

出動指令

災害現場に一番近い消防車・救急車に指令を出すよ。

←

出動

←

現場到着

出動する救急車

▲通信指令室で119番の電話を全部受けているんだ。画面で場所もすぐ確認できるんだよ。

どんなすごい車や機械を使っているの？

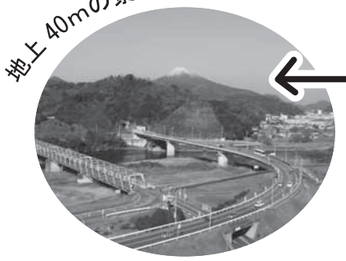
▲特殊工作車両
災害発生時に救助に役立つ様々な機械・道具を搭載した車両です。

人がいることがわかるよ！

カメラをのぞくと…

▲アルゴス
暗闇や煙の中で熱を感知して、建物に取り残された人を発見する特殊カメラです。

地上 40mの景色は絶景！

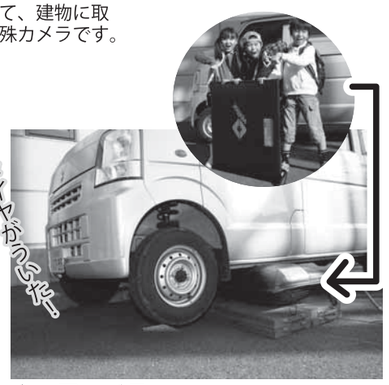


▲はしご車
高い建物に取り残された人を救助できます。はしごは、最大で地上高約 40m伸ばせます。

金属も切っちゃうよ！

▲エンジンカッター
金属を切断するカッター。シャッターなど救助や消火の妨げになるものを切断します。

◀陽圧式化学防護服
毒ガスや病原体ウィルスなどの付着や吸引を防いでくれます。



タイヤがうらやま

▲エアマイティ
車やがれきの下敷きになった人を助けるため使われる、空気の力でふくらます特殊なゴムのジャッキです。

木材ならお任せ！

▲カッターエッジ チェーンソー
救助専用チェーンソー。柱などに含まれる釘や金物の金属も木材と一緒に切れます。

紹介しているのは車両や機械の一部です。
=3 このほかにも様々な種類があります。

お仕事で困っていることは何？

救急車の出動件数が年々増加しているため、6台の救急車がすべて出動してしまう可能性があることだよ。

ちょっとしたことでも救急車を呼ぶ人がいると、本当に助けが必要な人のところへ救急車が行けなくなるおそれがあるんだ。軽いけがや病気、夜間でも診察してもらえる病院がわからない場合などは、病院の紹介もしているから、近くの消防署へ問い合わせてね。

また、火事や事故の現場では、色々な人が見物に集まって来るから、その人たちが事故に巻き込まれないように注意しなければならなくて困る場合があるんだ。現場は危ないから近寄らないでね。

あと、災害出動する消防車のサイレンを聞いて、119番に「何があったの?」って電話をかけてくる人がいるんだ。119番は緊急のための番号だから、災害などのお問い合わせは、災害情報案内（0558-77-2000）へ電話してくださいね。

（電話番号）
田方北消防署
055－978－0119
田方中消防署
0558－76－0119
田方南消防署
0558－74－0119
西出張所
0558－98－0119

田方広報研究会共同編集
すごいぞ ぼくらの 田方消防

探検の最後に消防長のお話を聞いたよ！

石上寿夫消防長

田方地域では火災件数は減っていますが、高齢者の一酸化炭素中毒による死亡事故はなくなりません。同じ建物の住民が火災に気づかず逃げ遅れてしまったなど、火災警報機があれば助かったかもしれないという事件も報告されています。住宅用火災警報器の周知を進めて、火災による死亡事故0を目指していきます。

また豪雨や地震などの自然災害は予期せずに発生します。防災に大切なのは地域や近所、仲間との『絆』です。皆さんも阪神淡路大震災の教訓から学び、何かあったら助け合いましょう。

将来、消防署で働きたいと思っている子どもたちへ。消防士になるには、体を鍛えること以上に優しい心が大切です。困っている人に手を差し伸べられる優しい人になりましょう。

『夢』はかなえるものです。私たちは『日本一の消防署』を目指した結果、特別救助隊の全国大会でも毎年優秀な成績を収めるほど高い救助能力を持つようになりました。これからは技術に加え、日本一の『まごころのある』消防署を実現させていきます。

将来に向けた駿東伊豆地区の消防救急広域化が進められる中、これからも変わらず皆さんに信頼される田方消防署であり続けたいと思います。

ありがとうございました！